

# 熊取町議会委員会会議録

## 環境施設広域化調査特別委員会

平成31年2月27日開催

熊 取 町 議 会

# 目 次

[環境施設広域化調査特別委員会]

ごみ処理広域化に伴う委託料の経費負担などについて .....	1
その他 .....	5

## 環境施設広域化調査特別委員会

月 日 平成31年2月27日(水曜)招集

場 所 熊取町役場北館3階大会議室

出席委員	委員長	文野慎治	副委員長	坂上昌史
	委員	浦川佳浩	委員	渡辺豊子
	委員	矢野正憲	委員	河合弘樹
	委員	江川慶子	議長	坂上巳生男

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原敏司	副町長	中尾清彦
	企画部長	南和仁	総務部長	林利秀
	住民部長	藤原伸彦	住民部統括理事	吉田潔
	環境センター所長	椿原康雄		
事務局	議会事務局長	北川雄彦	書記	藤原孝二

案 件

- 1) ごみ処理広域化に伴う委託料の経費負担などについて
- 2) その他

委員長(文野慎治君)皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから環境施設広域化調査特別委員会を開会いたします。

(「11時00分」開会)

委員長(文野慎治君)なお、発言される方は、必ずマイクを使ってお使いいただきますようお願いいたします。

本日の案件でございますが、ごみ処理広域化に伴う委託料の経費負担などについてであります。

それでは、本件について説明を願います。椿原環境センター所長。

環境センター所長(椿原康雄君)それでは、ごみ処理広域化に伴う委託料の経費負担などについてご説明いたします。

まず、1点目の協議事項ですが、経費負担割合については、委託費、建設事業費、維持管理費、その他経費(総務費、議会費)の4つの区分に応じて検討することとしていますが、今年度については、後で申し上げます2の業務を発注していることから、1月4日、2月14日及び20日に本町、泉佐野市、田尻町及び泉佐野市田尻町清掃施設組合により、委託費の経費負担について以下のとおり協議しました。

まず、委託業務については、施設規模にかかわらず一定の経費が発生する業務と施設規模に応じて経費が増減する業務があり、より合理性を高めるため、委託業務の性質に応じて経費負担割合を検討する。次に、平成30年度実施業務については施設規模にかかわらず一定の経費が発生する性質の業務であるため、経費負担については均等割とするということで、負担金については表のとおり、各市町ともに129万6,000円ずつの負担となりました。

なお、本委託費の負担金に加え組合での事務処理に係る本町負担金が発生するため、3月補正で

合計139万6,000円を計上しています。

その事務費の考え方ですが、組合のごみ処理事業に係る経費のうち人口割にて算出した議会費・総務費相当分及び事業所人件費相当分の今年度委託業務費率分として算定されることになっており、10万円を予算計上しています。

また、現在のところ各市町環境担当課案では、維持管理費の負担割合については搬入量割とすることで一致していますが、他の3経費については各市町それぞれ意見が分かれているところであり、参考までに、均等割等の4種類の各負担割合を採用した場合の各市町の負担率を表にしています。

続きまして、2点目の今年度実施業務概要ですが、業務名が新ごみ処理施設整備基本構想及び循環型社会形成推進地域計画策定業務で、金額が388万8,000円、契約業者が株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間が平成30年5月8日から平成31年3月25日となっております。内容につきましては、新ごみ処理施設整備基本構想が新ごみ処理施設を検討する上で基本的な方針や課題を抽出するものとなっております、循環型社会形成推進地域計画が地域の循環型社会形成を推進するための基本的な計画であり、一般廃棄物の減量化、再生利用に関する目標等を定めるもので、循環型社会形成推進交付金を受けるために必要な計画書であります。

最後に、3点目の今後の協議の進め方ですが、平成31年度以降に行う協議には、建設費、維持管理費等の経費負担割合のほか、施設の内容や組合の形態などの議論も想定されるため、各市町の財政、企画、人事部局も入り協議を進める方向で検討しているところでもあります。

説明は以上でございます。

委員長（文野慎治君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）まず、30年度実施業務というところで計画書策定というところの説明かと思うんですが、金額、予算ですが88万8,000円というところで、計画策定に当たっては1市2町それぞれ同じ割合で129万2,000円を負担するというところの説明やったと思うんです。その計画書策定の契約業者が株式会社建設技術研究所大阪事務所ということになっているんですが、この契約の経過、どこでこういうふうにここが決まってどんなふうにして決めたのかとか、ちょっとその辺のところを教えてください。

委員長（文野慎治君）答弁を求めます。椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）この契約につきましては泉佐野市、田尻町の組合のほうで主に業務を進められておまして、入札により決定したというふうになっております。

委員長（文野慎治君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）そこには熊取町は入らないでいいということなんですか。その入札についての説明というのは町にはないんですか。何者が入札されてどんなふうにして決まったかという説明は町にはないんですか。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）何者で入札されたとかどのような経緯で発注に至ったという説明は、今のところ組合のほうからは受けておりません。

委員長（文野慎治君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）わかりました。町も一応、泉佐野市や田尻町が今現在組合として計画書策定について入札されたかと思うんですが、やっぱり熊取町もそこに入って行って129万6,000円負担するわけですので、その辺の経過とかそういった詳しいこともやっぱりつかんでおきたいなというふうに思っております。その辺また聞いていただき、教えていただきたいなというふうに思います。

あと、その計画の内容についてはいつわかって、どういう形でなっていくのか、ちょっとその辺を教えてください。

委員長（文野慎治君）吉田住民部統括理事。

住民部統括理事（吉田 潔君）この計画書は、先ほども説明いたしましたように工期が3月25日となっております、まだ成果品というのができていない状況でございます。2月20日に担当者が集まったときの確認といたしましては、6月に各市町の議会に報告しようという形で今のところ話は進んでいるところでございます。

委員長（文野慎治君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）わかりました。そしたら6月議会でまた特別委員会があり、報告があるということですね。

あと、その報告の計画書に基づいてあとの維持管理等の負担割合につきましては、この協議というのはいつしていくんですか。今、負担割合表が参考という形で均等割、人口割、計画搬入量割、搬入量割というところでお示しいただいているんですが、ほかの3経費のやつは各市町それぞれ意見が分かれているというふうに説明がありましたけれども、搬入量割とすることで一致しているが、他の3経費というのは維持管理費の……。きょう今説明を受けたばかりなんでちょっと中身がまだ余り掌握できていないんですけれども、各市町担当課では維持管理費の負担割合については搬入量割ということで一致しているが、他の3経費というのは建設事業費ですか。委託費、建設事業費、その他の経費というところですか。その辺は意見が分かれているというところですが、それはいつどんなふうにして話し合い、決定していくんですか。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）次年度以降の負担割合につきましては、また随時協議を進めまして、その上で決定していく予定と今のところはなっております。

また、先ほどちょっとご説明させていただいたように、次年度以降には各市町の財政、企画、人事部門も入った上での協議ということで進めようやないかということで、今検討を進めているところでございます。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。江川委員。

委員（江川慶子君）これ、次年度以降は協議の中に熊取町も一緒に入っていくわけなんです、平成30年度の実施業務については報告ですよ。もう進んでいる中で、均等割で熊取町だけ負担金が発生して、これから出すということなんですよ。今の報告では。ということは、泉佐野市、田尻町で進んでいる中で熊取町が後から入ってくる中で、負担分だけ熊取町は均等で払ってくれというふうに理解してよろしいんですか。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）今年度実施業務自体の内容につきましては、ずっと熊取町も入った上でコンサルさんと1市2町、組合も入った上での協議はずっと継続して進めておりましたので、内容につきましては熊取町の意見も反映されているというところでございます。

委員長（文野慎治君）吉田住民部統括理事。

住民部統括理事（吉田 潔君）今回の契約につきましては組合の発注業務でございます、泉佐野市田尻町清掃施設組合と申しますのは泉佐野市と田尻町とはまた別の団体、公共団体という法的に言いましたも別の団体という形になりまして、この契約につきましては、先ほど所長が説明いたしましたように組合のほうで発注したものでございまして、泉佐野市、それから田尻町につきましても本町と同じようにかかわってはおりません。全く1市2町は同じスタンスでかかわって協議も行っておりますので、委員がご心配されているように熊取町のみがちょっと蚊帳の外に置かれているというものではございませんでして、泉佐野市、田尻町と同等の立場で協議を行っております。

契約は組合で発注されたものでございますけれども、その作成するに当たっての協議というの回数行っております。それは、組合が事務局的な形に入って、コンサル業者と泉佐野市、田尻町、それから熊取町の清掃施設の担当が同じ立場で協議しておりますので、ご理解をよろしく願います。

委員長（文野慎治君）江川委員。

委員（江川慶子君）わかりました。組合が入札して、それでコンサルさんが決まって、もうそこで事業が始まっていると。その中の負担割合は均等割に今回していきたいという話なんですね。

これについて各いろいろな意見が出ているというような説明だったんですが、どのような意見なのかお聞かせください。

委員長（文野慎治君）吉田住民部統括理事。

住民部統括理事（吉田 潔君）そもそもの話からいきますと、委託費、建設事業費、それから維持管理費、その他の経費でございますけれども、当初は負担割合一本という考え方もあったわけなんです。例えば3人で旅行する場合と1人で旅行する場合を考えたときに、タクシー代なんかでいくと、1人で行くと丸々1人分かかってしまいますけれども3人で行くと3等分で割ることができる。ホテルの宿泊料とかでいくと、1人で行くと1人1室のホテル代、3人で行けば3人1部屋のホテル代で済む。また逆に食事費なんかでいくと、3人で行こうが1人で行こうが1人前の料理代は料理代だということで、それぞれの性質によって負担割合を考えていかなければならないというのが、まずは4つに分かれた趣旨でございます。

その中で委託費につきましては、均等割ですべきというところと人口割あるいは搬入量割という意見がございました。それで、均等割の考え方といいますのは、計画書とかというのは単独でつくる場合も広域でつくる場合も同じ金額がかかるでしょうと。ですので均等割が一番ふさわしいんじゃないかというご意見がございました。今年度につきましてはまさしく均等割のものというのは考えられるんですけれども、委託費と一口で言いますが、直接の設計委託とかになってきますと規模の大小によってやはり委託料は変わってくるでしょうという議論をいたしまして、それじゃ、ここに書いておりますように、施設規模にかかわらず一定の経費がかかる委託料とそうじゃないやつと分けましょうと。時間の関係で、規模によって経費のかかるやつにつきましてはまた来年度以降検討しようということに決まったものでございます。

委員長（文野慎治君）江川委員。

委員（江川慶子君）わかりました。微妙だなと、お話を聞いていて。確かに必要な経費やからここは割り勘でという、平等にということの提案なんですよ。理解しました。

それで、これによって計画を出すことによって交付金が入ってくるということですが、それはどんな形になるんですか。割り勘で3業者にするのか組合に行くのか。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）交付金につきましては、組合のほうから一括で国のほうに申請を出して、組合のほうに交付されるということになると思います。ですから、その分差し引いた形での熊取町の負担という形になると今のところ考えております。

以上です。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。坂上議長。

議長（坂上巳生男君）すみません、ちょっと1点だけお聞かせ願いたいんですが、委託費とその他経費の中の総務費とあるんです。この違いはどうなんでしょうか。委託費というと何か事務的な経費かなという気がするんですが、その辺ちょっとご説明願えますか。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）委託費と申しますのは、これから今年度を含めまして建設に至るまでに業者に発注してやっていただくような業務、そちらのほうを委託業務で考えております。一方、その他経費の総務費、議会費につきましては、組合のほうでかかっている経費、総務的な経費と議会に係る経費、これらのことを今考えております。

以上です。

委員長（文野慎治君）坂上議長。

議長（坂上巳生男君）そうしますと、ここでいう委託というのは組合から民間業者への委託という、そういう意味ですか。わかりました。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

以上で質疑を終了いたします。

これをもって、ごみ処理広域化に伴う委託料の経費負担などについての件を終了します。

以上で、本日の案件は終了いたしました。

その他、何かご報告等があれば承ります。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で環境施設広域化調査特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

---

（「11時23分」閉会）

---

以上の委員会の次第は議会議務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

環境施設広域化調査特別委員会委員長

文野慎治